

セーフティガイドライン2008-2009

LEVEL 6

LEVEL6対象 : 18歳以上(高校生は不可) ※ルール改訂からの変更は赤字で記載

General Tumbling (タンブリング全般)

- A 全てのタンブリングは競技フロアーから始め、フロアーに着地すること。ただし、競技フロアーからタンブリングを始め、フロアーに着地せずに足から、またはうつぶせでスタンツに移行するのは可。
(例:側転からのショルダー・シット等は可)
- B スタンツや選手、小道具を飛び越える、くぐり抜ける、タンブリングは禁止。(例外:小道具を飛び越える前/後転は可)
- C 小道具を持ったまま、または触れた状態でのタンブリングは禁止。
- D スポッターをつける、支えられる、または人が連なったのタンブリングは禁止。
- E ダイブロール(飛び込み前転)
 - 1) 伸身やスワンでの飛び込み前転は禁止。
 - 2) ツイストを含む飛び込み前転は禁止。
- F スタンツにおけるフリップ(※)、ツイスト等の動作はタンブリングではない。
デismountとインバージョン(※)の項目参照。

Standing Tumbling (立位タンブリング) / Running Tumbling (走りこみタンブリング)

- A フリップ(※)は1回転、ツイストは2回転まで。

Stunts (パートナースタンツ)

- A スポッター
 - 1) 片手でエクステンション・レベルの高さのリバティやオーサムを行う場合、必ずスポッターをつけること。
 - 2) フリップ(※)やツイストを含むマウントまたはスタンツの移行を行う場合、必ずスポッターをつけること。
- B ツイスト・マウント(※)とツイストの入ったスタンツの移行はトップの回転が2回転までとする。
- C フリップ(※)または補助つきフリップ(※)を含むスタンツやトランジショナル・スタンツ(※)は可。
必ずフロアーから開始すること。フリップ(※)1回転、ツイスト2回転まで可。(例外:フリップ(※)からクレイドルは可)
フリップ(※)を経由して肩の高さ以下の位置でキャッチされるトランジショナル・スタンツ(※)では、
トップの頭と肩を補助するスポッターをつけること。
- D トランジショナル・スタンツ(※)を行う際、ベースは交代しても良い。
- E シングルベース・スプリッツ・キャッチング(※)は禁止。
- F シングルベースのダブルキューピー(※)は各トップにスポッターをつけること。

セーフティガイドライン2008-2009

LEVEL 6

- G スタンツにおけるリリース・ムーブ(※)
- 1) リリース・ムーブ(※)は可。
 - 2) リリース・ムーブ(※)において、うつぶせ姿勢で着地は禁止。
 - 3) リリース・ムーブ(※)は、必ず元のベースに戻ることに。
 - 4) ヘリコプター(※)は180度回転で1/2ツイストまで、3名以上のキャッチャーで1名はトップの頭と肩を補助してキャッチすること。
 - 5) リリース・ムーブ(※)は意図的に別の場所へ飛ばしてはいけない。
- I スタンツにおけるインバージョン(※)
- 1) トップが逆さになるスタンツは可。スタンツとピラミッドの項目参照。
 - 2) プレップ・レベル(※)以上の高さからダウンワードインバージョン(※)を行う場合、少なくとも2名以上のベースがトップを支えていること。少なくとも1名のベースが主にトップに触れていなければならない。

Pyramid (ピラミッド)

- A ピラミッドを行う際は、パートナースタンツとデスマウントの規則に従うこと。
- B ピラミッドは3段=2-1/2high(※)まで可。
- C 2-1/2 high(※)のピラミッドは最上段の各トップに対し、前後にスポッターをつけ、トップが2-1/2 high(※)の高さにいる間、スポッターは同じポジションを保つこと。スポッターは少し横にずれたポジションに立っても良いが、状況に応じてトップをスポットできるようにし、トップが2-1/2 high(※)の高さにいる間、常にトップから目を離さないこと。この時、スポッターはピラミッドの主な重心を支えてはならない。
- D フリーフライング・マウント(※)はフロアからスタートすること。フリップ(※)1回転とツイスト1回転または、フリップ(※)を加えないツイスト2回転まで可とする。
- E ピラミッドでのリリース・ムーブ(※)
- 1) トランジショナル・ピラミッド(※)を行う際、トップはプレップ・レベル(※)以下の高さの1名以上のトップの身体に触れていれば2-1/2high(※)以上の高さを経過しても良い。
- F ピラミッドでのインバージョン(※)
- 1) トップが逆さになるスタンツは2-1/2high(※)の高さまでとし、トップをプレップ・レベル(※)以下の高さで1名以上の選手が支えること。
 - 2) プレップレベル(※)以上の高さから逆さ状態で降りる場合、2名以上のベースが補助しなくてはならない。トップは1名のベースまたは他のトップと接触してはならない。
- E ピラミッドでの支持ありのインバージョン(※)を伴うリリース・ムーブ(※)
- 1) トップが支持された状態で逆さになる際(プレス・フリップ(※)を含む)、プレップ・レベル(※)以下の高さで1名以上に支えられていること。
 - 2) プレス・フリップ(※)は1-1/4回転、ツイストは1回転まで。
 - 3) プレス・フリップ(※)は2名以上のキャッチャーでキャッチすること。

セーフティガイドライン2008-2009

LEVEL 6

Dismounts (デスマウント)

- A シングルベースでのクレイドル・キャッチングにおいて、1-1/4回転以上のツイストをする場合、少なくとも1名のキャッチャーとトップの頭と肩を手/腕で補助するスポッターを1名つけること。
- B プレップ・レベル(※)以上の高さのスタンツやピラミッドからフロアーへのデスマウントは必ず補助すること。
- C 2 high(※)の高さのスタンツやピラミッドからのツイスト・クレイドルは2-1/4回転まで可とし、**少なくとも2名のキャッチャーでキャッチすること**。2-1/2 highのピラミッドからのツイスト・クレイドルは1-1/4回転まで可とし、3名以上のキャッチャーでキャッチすること。(例外:トップが正面を向いている2-1-1サイズスタンド(エクステンション、リバティ、ヒールストレッチ等)は2回転のツイスト・クレイドルを可とする)
- D フリップ(※)・**デスマウント**は1回転まで、ツイストは加えないこと。
- E フロアーへのフリップ(※)・デスマウントは禁止。
- F プレップ・レベル(※)以下の高さからフリップ(※)をクレイドル・キャッチングする場合、少なくとも2名以上のキャッチャーでキャッチを行い、うち1名は元のベースであること。
- G プレップ・レベル(※)より上の高さから始まるフリップ(※)は禁止。
(例外:2-1/2 high(※)の高さのピラミッドからの3/4フロント・フリップは可。ただし、2名のキャッチャーとトップの頭と肩を支えるスポッターをつけること。この時、スポッターは少し横にずれたポジションに立っていても良いが、トップの頭と肩を少なくとも片手/腕で支えること)
- H テンションドロップ/ロールは禁止。
- I シングルベースのダブルキューピー(※)をクレイドル・キャッチングする際は、2名のキャッチャーとトップの頭と肩を手/腕で補助するスポッター1名がそれぞれのトップをキャッチする。
キャッチャーとベースはデスマウント開始前に静止していなくてはならない。

Tosses (トス)

- A トスベースは4名まで。ベースの1名は必ずトップの後ろで支え、トップのトスを補助してもよい。
- B トスはフロアーの高さから始め、クレイドル・ポジションで終了すること。トップは3名以上のベースにクレイドル・ポジションでキャッチされ、うち1名はトップの頭と肩を支えること。(例外:ヘリコプター・トス(※))
- C フリップ・トスはフリップ(※)1回転まで、ツイストは2回転までとする。
- D スタンツ、ピラミッド、選手、または小道具が、他のトスを越える、もしくはくぐることは禁止。また、トスが他のスタンツ、ピラミッドまたは選手、小道具を越える、くぐる、もしくは間を抜けることも禁止。
- E フリップ(※)なしのツイスト・トスは3-1/2回転まで可。
- F ベースが交代するトス
 - 1) トップが別の組のベースにトスされる場合、3名以上のキャッチャーでクレイドル・キャッチングする。
 - 2) キャッチャーは他の技や振り付けを行ってはならない。トスが始まった時から最後までトップから目を離さないこと。
 - 3) トスのツイストは1-1/2回転まで、フリップ(※)は禁止。(例外:ツイストを加えない、3/4フロント・フリップは可)